



平成28年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成28年5月13日

上場会社名 株式会社フーマイスターエレクトロニクス
 コード番号 3165 URL <http://www.fuco-ele.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成28年5月13日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 武石 健次
 (氏名) 藤田 和弘

TEL 03-3254-5361

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年9月期第2四半期の業績(平成27年10月1日～平成28年3月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	52,128	30.3	△101	—	74	△93.4	45	△93.7
27年9月期第2四半期	40,003	△20.0	665	31.6	1,135	82.7	719	127.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年9月期第2四半期	18.32	—
27年9月期第2四半期	292.32	—

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年9月期第2四半期	27,197		6,901			25.4
27年9月期	35,997		6,948			19.3

(参考)自己資本 28年9月期第2四半期 6,901百万円 27年9月期 6,948百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年9月期	—	0.00	—	35.00	35.00
28年9月期	—	0.00	—	—	—
28年9月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年9月期の業績予想(平成27年10月1日～平成28年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	93,000	△12.0	200	△76.0	400	△70.2	260	△70.3	105.63

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年9月期2Q	2,529,100 株	27年9月期	2,529,100 株
② 期末自己株式数	28年9月期2Q	67,688 株	27年9月期	67,688 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年9月期2Q	2,461,412 株	27年9月期2Q	2,461,454 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(3) 追加情報	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(平成27年10月1日～平成28年3月31日)における世界経済は、米国では緩やかな回復基調が続きましたが、中国および新興国における経済成長ペースの鈍化などにより先行きが懸念される状況で推移いたしました。わが国経済も減速する世界経済の影響を受け、先行きに不透明感が増しております。

当社が参入しております電子部品業界は、スマートフォン市場の伸びが鈍化しているものの、車載用途向け電子部品の市場は堅調を維持しております。

このような環境の中、当社におきましては、既存取引の強化及び新規顧客の獲得や取扱商品の拡大に積極的に取り組み収益性の向上を目指してまいりました。具体的には仕入先と協働し顧客ニーズを的確に捉え、販売計画等の情報について早期キャッチアップとフォローに努めてまいりました。その結果、スマートフォン向け半導体の販売は減速したもののLCDモジュールは好調に推移しました。

売上高は521億28百万円(前年同四半期比30.3%増)となりましたが、円高等に伴う採算悪化により営業損失が1億1百万円(前年同四半期は営業利益6億65百万円)発生しました。為替差益が1億42百万円発生したことなどにより、経常利益は74百万円(前年同四半期比93.4%減)、四半期純利益は45百万円(前年同四半期比93.7%減)となりました。

当第2四半期累計期間における事業部門別概況は以下のとおりであります。

① 半導体事業

半導体事業は、当社取扱い製品が採用されているスマートフォンモデルの生産調整の影響を受け売上高が鈍化する傾向となりました。一方、白物家電や車載用途向け半導体の需要は堅調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は162億86百万円(前年同四半期比10.5%減)となりました。

② LCDモジュール事業

LCDモジュール事業は、最先端技術である薄型化・軽量化・低消費電力化を図ったインセル技術を採用した顧客ニーズに合致した競争力のある製品の販売に注力してまいりました。これによりビジネスの拡大を図ることができました。

以上の結果、売上高は230億40百万円(前年同四半期比170.6%増)となりました。

③ パネル事業

パネル事業は、国内パソコン市場の縮小傾向や単価の下落が続く中で、ノートブックパソコンやスタンダードなデスクトップモニター向けの販売数量・金額は減少しましたが、IT向けの大型・高付加価値デスクトップモニターや大型・高精細パブリックディスプレイの分野での拡販により販売数量・金額も増加しました。また、顧客・仕入先との緊密な連携を維持し、携帯用小型パネルの販売が寄与した事により売上は微増となりました。

以上の結果、売上高は118億11百万円(前年同四半期比0.7%増)となりました。

④ 電子材料事業

電子材料事業は、スマートフォン用Li-ion(リチウム・イオン)バッテリーセルは新規受注機種が無く、また有機EL用封止材も顧客製品の販売不振から需要が大幅に減少しました。

以上の結果、売上高は9億89百万円(前年同四半期比36.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産・負債・純資産の状況

当第2四半期会計期間末の資産は、現金及び預金が1億26百万円、売掛金が73億7百万円、商品が11億90百万円減少したこと等により、271億97百万円(前事業年度末比87億99百万円減)となりました。

当第2四半期会計期間末の負債は、買掛金が94億33百万円減少したこと、短期借入金が増加したこと等により、202億96百万円(前事業年度末比87億52百万円減)となりました。

当第2四半期会計期間末の純資産は、四半期純利益により利益剰余金が45百万円増加したこと、剰余金の配当に伴う利益剰余金の減少が86百万円あったこと等により、69億1百万円(前事業年度末比47百万円減)となりました。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、営業活動、投資活動、財務活動による各キャッシュ・フローが合計で1億26百万円減少し、13億98百万円となりました。

当第2四半期累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において営業活動に使用した資金は、14億22百万円(前年同四半期は資金の増加18億1百万円)となりました。

これは主に、増加要因として売上債権の減少額73億7百万円、たな卸資産の減少額11億90百万円、減少要因として仕入債務の減少額94億33百万円があったこと等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において投資活動の結果得られた資金は、50百万円(前年同四半期は資金の減少5百万円)となりました。

これは主に、出資金の回収による収入55百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期累計期間において財務活動の結果得られた資金は、13億35百万円(前年同四半期は資金の減少3億49百万円)となりました。

これは主に、短期借入金の純増加額14億85百万円、長期借入金の返済による支出60百万円、配当金の支払いによる支出86百万円等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年9月期の業績予想につきましては、平成28年5月2日に「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はございません。

為替相場や当社製品を採用しているスマートフォン等の最終製品の動向がより明確になり、業績予想を見直す必要が生じた場合には、適時に見直し数値を開示する予定であります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

法人税率の変更等による影響

「所得税法等の一部を改正する法律」（平成28年法律第15号）及び「地方税法等の一部を改正する等法律」（平成28年法律第13号）が平成28年3月31日に公布され、平成28年4月1日以降に開始する事業年度から法人税率等の引下げ等が行われることとなりました。これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の32.3%から平成28年10月1日に開始する事業年度及び平成29年10月1日に開始する事業年度に解消が見込まれる一時差異については30.86%に、平成30年10月1日に開始する事業年度以降に解消が見込まれる一時差異等については、30.62%となります。

この税率変更により、繰延税金負債の金額（繰延税金資産の金額を控除した金額）は14,399千円、法人税等調整額が14,124千円それぞれ減少し、その他有価証券評価差額金が275千円増加しております。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成27年9月30日)	当第2四半期会計期間 (平成28年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,527,319	1,400,724
売掛金(純額)	16,448,139	9,140,771
商品	13,506,462	12,316,419
その他	1,533,132	1,466,358
流動資産合計	33,015,053	24,324,273
固定資産		
有形固定資産	2,620,722	2,578,304
無形固定資産	8,638	9,535
投資その他の資産	352,601	285,373
固定資産合計	2,981,962	2,873,213
資産合計	35,997,016	27,197,486
負債の部		
流動負債		
買掛金	20,607,290	11,173,414
短期借入金	5,999,959	7,197,259
1年内返済予定の長期借入金	120,000	120,000
未払法人税等	255,044	9,033
賞与引当金	43,721	29,864
役員賞与引当金	30,000	—
その他	172,365	91,685
流動負債合計	27,228,381	18,621,258
固定負債		
長期借入金	900,000	840,000
退職給付引当金	91,763	103,163
役員退職慰労引当金	322,802	344,474
投資損失引当金	73,879	—
資産除去債務	30,206	30,429
その他	401,657	357,040
固定負債合計	1,820,309	1,675,106
負債合計	29,048,690	20,296,365
純資産の部		
株主資本		
資本金	550,450	550,450
資本剰余金	2,382,670	2,382,670
利益剰余金	4,038,838	3,997,782
自己株式	△41,153	△41,153
株主資本合計	6,930,805	6,889,750
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	17,520	11,371
評価・換算差額等合計	17,520	11,371
純資産合計	6,948,325	6,901,121
負債純資産合計	35,997,016	27,197,486

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
売上高	40,003,865	52,128,386
売上原価	38,613,187	51,427,198
売上総利益	1,390,677	701,187
販売費及び一般管理費		
給料手当及び賞与	268,987	262,838
退職給付費用	28,032	14,037
役員退職慰労引当金繰入額	12,918	21,672
賞与引当金繰入額	35,355	29,944
その他	379,659	474,046
販売費及び一般管理費合計	724,953	802,538
営業利益又は営業損失(△)	665,723	△101,350
営業外収益		
受取利息及び配当金	1,668	2,816
為替差益	491,270	142,790
匿名組合投資利益	4,381	78,782
その他	21,307	20,052
営業外収益合計	518,627	244,442
営業外費用		
支払利息	42,333	42,483
支払手数料	5,452	5,978
売上債権売却損	1,089	19,645
その他	104	34
営業外費用合計	48,980	68,142
経常利益	1,135,371	74,949
特別損失		
投資有価証券評価損	10,600	—
特別損失合計	10,600	—
税引前四半期純利益	1,124,771	74,949
法人税、住民税及び事業税	245,663	7,496
法人税等調整額	159,568	22,358
法人税等合計	405,232	29,855
四半期純利益	719,538	45,094

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成26年10月1日 至平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自平成27年10月1日 至平成28年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,124,771	74,949
減価償却費	57,160	52,784
長期前払費用償却額	1,636	1,649
貸倒引当金の増減額(△は減少)	754	△140
賞与引当金の増減額(△は減少)	△8,649	△13,856
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△25,000	△30,000
退職給付引当金の増減額(△は減少)	4,375	11,400
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	8,346	21,672
長期未払金の増減額(△は減少)	△397	△71
投資有価証券評価損益(△は益)	10,600	—
受取利息及び受取配当金	△1,668	△2,816
支払利息	42,333	42,483
為替差損益(△は益)	△272,284	△193,913
匿名組合投資損益(△は益)	△4,381	△78,782
売上債権の増減額(△は増加)	△1,974,183	7,307,368
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,908,696	1,190,042
仕入債務の増減額(△は減少)	5,016,729	△9,433,875
その他	△74,192	△79,439
小計	1,997,255	△1,130,545
利息及び配当金の受取額	1,585	2,789
利息の支払額	△42,339	△42,500
法人税等の支払額	△155,482	△251,977
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,801,019	△1,422,233
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△0	△0
出資金の回収による収入	—	55,081
有形固定資産の取得による支出	△5,659	△3,650
無形固定資産の取得による支出	—	△3,294
関係会社貸付金の回収による収入	2,936	—
従業員に対する長期貸付けによる支出	△5,215	△5,961
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	2,322	1,415
預り保証金の受入による収入	—	6,698
差入保証金の差入による支出	△29	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,646	50,289

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)	当第2四半期累計期間 (自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	1,485,964
長期借入金の返済による支出	△60,000	△60,000
リース債務の返済による支出	△3,440	△3,956
自己株式の取得による支出	△63	—
配当金の支払額	△86,084	△86,106
財務活動によるキャッシュ・フロー	△349,588	1,335,901
現金及び現金同等物に係る換算差額	260,409	△90,552
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,706,193	△126,595
現金及び現金同等物の期首残高	1,949,664	1,525,296
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,655,858	1,398,701

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第2四半期累計期間(自 平成26年10月1日 至 平成27年3月31日)
当社の事業は、「電子部品関連事業」以外の重要なセグメントがないため、記載を省略しております。

- II 当第2四半期累計期間(自 平成27年10月1日 至 平成28年3月31日)
当社の事業は、「電子部品関連事業」以外の重要なセグメントがないため、記載を省略しております。